

授業科目 職業関連作業療法学・演習

【担当教員名】 貝淵正人・桐本光	対象学年	3	対象学科	作業
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：G I O>】

職業リハビリテーションにおける作業療法の位置づけと意義・役割を理解し、障害者への具体的な訓練の方法を学習する
 職業リハビリテーションの歴史や障害者の一般雇用などの基礎知識を習得する。
 職業関連活動に関する評価法や技法を修得する
 社会の中の障害者の現状を把握し、作業療法の役割りや具体的な方法について学ぶ

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

1. 職業の意義と職業的発達について説明できる
2. 障害者の就労についての状況と問題点を述べることができる
3. 職業に関して生活機能と障害、背景因子について整理し作業療法との関連を述べることができる
4. 標準化されている、職業関連の評価を施行できる
5. ICFを使用し就労支援への技法を施行できる

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	人と職業。職業とは	1	
2	職業リハビリテーションの定義・概念・歴史	1	
3	障害者の就労の現状	2	
4	職業リハビリテーションにおける作業療法の役割	3	
5	症例検討	3	
6	職業に関する評価	4	
7	支援計画	4	
8	職業興味検査の実施とその解釈	4	
9	GATB評価の実施とその解釈	4	
10	内田クレベリン検査の実施とその解釈	4	
11	MODAPTSの実施とその解釈	4	
12	職業レディネスチェックリストの実施とその解釈	4	
13	シングルケース（ICF使用）にて就労支援の検討	5	
14	職務分析	5	

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>	
教科書	職業リハビリテーション学 第2版	松為信雄編	協同医書出版	2006年	4200円
参考書	職業関連活動	早川宏子	協同医書出版	1999年	2600円
その他の資料	プリント				

【評価方法】 出席、レポート、期末試験	【履修上の留意点】
------------------------	-----------